



※ 様似町のホームページに「議会だより さまに」のカラー版を掲載しております。

～ 主 な 内 容 ～

◆令和7年5月臨時会

6月定例会

P 2～ 3

◆一般質問（5名・12件）

P 4～ 8

◆常任委員会報告

P 9～11

◆行政視察

P 12

No.25表紙写真 「豊漁期待のコンブ漁」

昨年不漁だったコンブの漁獲量ですが、今年のコンブ漁が始まった各地区での浜では、様似町の基幹産業のコンブ漁に大きな期待感が広がっています。

5月臨時会（5月8日）

6月定例会

18日～19日の2日間の
会期で行い審議しました。

議件は全9件です。

一般質問は5人12件です。



5月臨時会議件

- ・令和6年度様似町一般会計補正予算（第8号）に係る専決処分の承認について
- ・令和6年度様似町介護保険特別会計補正予算（第5号）に係る専決処分の承認について
- ・令和6年度様似町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）に係る専決処分の承認について
- ・令和6年度様似町高齢者医療特別会計補正予算（第3号）に係る専決処分の承認について
- ・保健福祉センター大規模改修工事請負契約の締結について
- ・西町高台周辺地区緊急避難施設新築工事請負契約の締結について
- ・令和7年度様似町一般会計補正予算（第1号）
- ・様似町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

6月定例会議件

- ・様似町公平委員会委員の選任について
- ・様似町税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について
- ・様似町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について
- ・様似町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・様似町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ・西様似駅前橋補修工事請負契約の締結について
- ・栄町団地建替工事（Ⅱ期）請負契約の締結について
- ・令和7年度様似町一般会計補正予算（第2号）
- ・令和7年度様似町介護保険特別会計補正予算（第1号）

委員会等議員活動報告

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ★総務・産業常任委員会 | 4月21日、6月 5日 |
| ★社会・文教常任委員会 | 6月 6日 |
| ★議会広報常任委員会・編集作業 | 3月18日、4月14日、21日（他11日間） |
| ★町村議会議員研修 | 7月 9日 |
| ★議会運営委員会 | 3月 7日、6月13日 |
| ★赤潮被害対策調査特別委員会・調査視察 | 6月 6日、7月 9日 |
| ★全員協議会 | 3月18日 |
| ★日高東部消防組合議会・臨時会 | 3月24日、5月12日、7月18日 |
| ★日高東部衛生組合議会・定例会 | 3月24日 |
| ★日高町村議会議長会事務局長会議 | 4月17日 |

3月 7日 令和7年北海道議会議員小林ゆうじ道政報告会

14日 令和6年度様似中学校卒業証書授与式（定例議会中）

19日 令和6年度様似小学校卒業証書授与式

25日 令和6年度幼児センター卒園式



- 4月 1日 辞令交付
 3日 令和7年度幼児センター入園式
 令和7年度教職員辞令交付式
 北海道札幌方面浦河警察署長着任あいさつ来訪
 7日 令和7年度様似小学校入学式
 令和7年度様似中学校入学式
 12日 アポイ岳山開き・アポイ山麓ファミリーパークオープン安全祈願祭
 19日 長谷川岳参議院議員政経セミナー
 20日 新冠町長選挙当選祝い
 5月11日 橋本聖子後援会事務所開き
 17日 高橋はるみ後援会事務所開き
 19日 2025年度原水爆禁止国民平和実行委員会来訪
 24日 令和7年度様似中学校体育大会
 25日 令和7年度日高東部消防組合様似町消防団並びに様似支署消防訓練大会
 えりも町長選挙当選祝い
 27日 全国町村議会議長会議長・副議長研修会
 29日 日高町村議会議長会定期総会
 30日 参議院議員船橋利実政経セミナー
 様似アイヌ協会イチャルパ(先祖供養祭)
 6月10日 北海道町村議会議長会第76回総会及び議長・事務局長研修会
 7月 8日 北海道町村議会議員研修会
 9日 赤潮被害対策調査特別委員会調査視察



▷令和7年度一般会計補正予算（第1号）◁

主なものは、

消防庁舎建設に係る財源調整のための

日高東部消防組合負担金を2960万円追加し

総額は

75億1614万4千円となりました。

～消防庁舎予算の詳細～

	総額	町負担額
消防庁舎	15億 381万円	5億3326万7千円
デジタル無線設備	1億8920万円	6127万3千円
エネルギーセンター	1億4300万円	2394万6千円
避難施設	2億3037万円	4196万1千円

※町負担額は補助等を差し引いた金額です。

▷令和7年度一般会計補正予算（第2号）◁

主なものは、

新型コロナワクチン助成に265万2千円

映画「北の流水（仮称）」映画負担金に532万2千円等

2378万1千円追加し

総額は75億3992万5千円となりました。

▷令和6年度一般会計補正予算（第8号）◁

主なものは、

えりも町のごみ搬入焼却（9ページ詳細記載）により

収入 660万円 増額となるが 7229万7千円減額し

総額 55億913万5千円となりました。【専決処分】

▷令和6年度介護保険特別会計補正予算（第5号）◁

1170万9千円減額し

総額は 4億5314万1千円となりました。【専決処分】

▷令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）◁

300万円減額し

総額は 5億6763万1千円となりました。【専決処分】

▷令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）◁

90万円減額し

総額は 9792万2千円となりました。【専決処分】

▷令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）◁

1124万3千円追加し

総額は4億8282万8千円となりました。



佐々木 敏 議員

質問①

様似港に隣接する運送事業者の撤退について

町の状況把握について

令和7年5月23日に日本通

運株式会社苦小牧支店長さんが来町し、不採算事業の整備、人材不足の深刻化等により令和7年6月末をもって事業撤退するとの報告がありました。積み出し作業は新ひだか町の事業者を引き継がれることになり、従業員は7名が新会社へ、1名は苦小牧支店へ、2名は退職となっており、土地、埠頭、各種機械類は有償譲渡されると報告を受けています。

想定する影響について

積み出し作業は新事業者に引き継がれるため支障はないと考えられるが、東邦オリビ

埠頭の利用について

ン工業さんからは、埠頭の老朽化により、埠頭からの積み出しが出来なくなった場合、大きな経費負担が発生すると危惧しています。

埠頭の利用について

オリビン製品の積み出しの貨物専用埠頭として利用しているが、水深が浅く大型船の利用は考えづらいと思っています。



質問②

町内事業所の発電について

町内事業者からの使用可能性について

いわゆる電力の地産地消という考え方と思いますが、現在町内でも再生エネルギーの固定価格買取制度（FIT）

を活用した太陽光発電事業者が幾つかありますが、売電された電気は卸電力取引市場を通して、あるいは直接小売り電気事業者に流通しています。

本町では、太陽光発電以外の再生エネルギーとして、幌満水系での水力発電があり、固定価格買取制度により売電していると聞いています。これらの電気を地元で消費できるかについては、方法論としてはできるが、現実論としては難しいと考えます。

ただ、マイクログリッドという特定地域、施設内で電力供給できる独立した電力網があり、自前の送配電線で供給する場合と、送配電事業者の系統線を利用する方法がありますが、いずれにしても実現するには高いハードルがあります。

災害時だけでも主要施設に給電できないか。

先に説明したマイクログリッドというネットワークを構築しなければ実現できないと思われ、過去では、町内で

停電が起きた際に、日本電工さんの工場、事務所、住宅の照明が点灯していたことがありましたが、第2、第3発電所と工場、様似・浦河の変電所までの送電線が日本電工さんの自営線であったためマイクログリッドが構築されていたということです。現在は、北電ネットワークの系統線になっているため、現状のシステムでは災害時に地元の再生エネルギーを融通して利用することは出来ないかと判断しています。

質問③

栄町の様似小学校教員住宅跡地の利用について

有事に備え学校近くに教員住宅があるべきと思うが。

小学校前にある教員住宅は昭和40年代に整備されており、老朽化に伴い使いづらく

なったことから最近では緑町の教員住宅に入居している状況です。老朽化の進んだ栄町教員住宅は令和6年度、令和7年度で解体を進めています。教員住宅の必要数については、きめ細かい教育の実践に向けて教員定数が増加されるなど、需要が変動する場合もあるが全体的に数が足りておらず、整備を進める必要性があります。整備の場所としてはご指摘にあったように、何かあった場合に備えて、少なくとも管理職向けの住宅は学校の近くにあった方がよいと考えています。具体的な整備戸数や整備の方法については民間活力等を活用するなど今後検討させていただきま

すが、現在解体を行っている跡地を活用する方向で進めていきたいと考えております。





砂子澤富美子議員

質問①

町民の質問・要望への対応について

町民から質問や要望、意見があつた際に声が届かず、必要な対応がされていないケースがある様です。現在の対応や処理方法を教えて下さい。

答

質問や要望等の内容に応じて各担当部署でまずは丁寧なヒアリング、次に要望内容を正確に把握し、実現の可能性を検討、その結果を丁寧に説明して納得して頂き、迅速な対応を基本としています。

問

「前例がない」と断られた件でも、実は迅速な対応が必要だったという事もありました。出来ない理由を探されるのではなく、別の方法提案や近付く方法の模索等、町民に寄り添った対応を望みます。

問

家族の方や、サービスを利

答

用している方は支援事業所の方等が判断・処理をして頂ける事が前提と考えています。情報アクセシビリティについては、昨年度より自治体の

全ての要望実現は困難とご理解頂きたいが、町民の要望には真摯に向き合い、丁寧な説明等を徹底して参りたいと思います。

質問②

障がい者計画について

障がい者計画についてあまり知られていませんが、この計画の目的や活用方法について教えて下さい。

答

目指すべき姿について記載しているものであり、利用者や町民一般に周知していませんでしたが、調べたり出来る様にホームページに掲載したいと思っています。

問

類似町の情報アクセシビリティ（年齢や障害の有無に関わらず、誰でも必要な情報に簡単にたどり着け、利用出来る事）について現状を教えてください。

答

家族の方や、サービスを利

答

「責務」として法律が制定されています。例えば視覚に障がいをお持ちの方は町内では12名、独居の方への親展の郵送物を送付する際に電話等の対応は出来ないでしょうか。

問

他町でも電話対応はしていないと思いますし、困っている人がいるかどうか調べてみようと思います。

問

最近では地震が頻発し、不安の声が多く聞かれています。計画では災害対策についても掲載されていますが、自力避難が困難な方の個別プランについて教えて下さい。

答

個別プラン、避難者名簿を今月の自治会長会議でお渡しする準備を進めています。明快な手法は見出せていないが、まずは自治会に提示させて頂いて意見を頂きながら詰めていきたいと思っています。

問

障がい者計画は利用者やご家族が人生を考える重要な指針、真に役立つ計画が必要ですが緊急性があると思われるが町長の考えを伺います。

質問③

スポーツセンターの今後について

障がい者計画は作って終わりではなく実際に使えなければ意味がありません。しっかりと対応出来る様、連携を取っていききたいと思っています。

問

議題が上がってから2年が経過しますが、何も決まっていない現状にあります。町民からの声も多く聞かれますが、今後の方針について伺います。

答

施設の老朽化が進む中、令和4年度の耐震診断で所要の耐震強度を満たしていない事が分かり、町議会全員協議会等で協議してきましたが進展に至っていないのが現状です。

問

進展がないまま議論もされていません。スポーツセンターを早く安全にしてほしいとの声が多く、また口論等につながった事例もあり、崩壊を怖がる子供達からも早く安心して使いたいと切なる要望が出ています。

質問④

夏場の熱中症対策について

出来るだけ早く方向性を決めたいと考えています。利用者の要望を軸に今後早急に検討していききたいと思っています

問

今年の6月より改正労働安全衛生規制が施行されています。熱中症対策が義務化された事で、役場含め、該当業務やその他の業務周知方法等、町の考えを伺います。

答

近年の記録的暑さで熱中症が増加し、労働安全衛生規則の一部が改正、令和7年6月1日に熱中症患者の報告体制の整備周知及び熱中症の悪化防止措置の準備周知が義務付けられました。現時点では熱中症に対する体制整備はしておりませんが進めていきたいと思っています。

問

改めて小・中学校の熱中症対策について伺います。令和5年より定められている熱中症対策をこれまでと同様に。エアコン整備に向けては実施設計業者も決まり、来年度工事予定です。



水野 洋一 議員

質問①

「様似川・土手の草刈り等の維持管理」について

問

① 現在の、様似川土手の草刈り等の維持管理（範囲・回数等）について質問いたします。

② 様似川左岸（錦町側）の維持管理において、自治会等の役割について町はどのように理解しているか質問いたします。

答

① 二級河川であります様似川は、北海道が管理しており、その河川区域内における土手の草刈りなどの維持管理業務は、室蘭建設管理部浦河出張所が担当しております。

令和7年度 浦河出張所管内の公共土木施設維持管理業務に含まれる様似川の維持管理については、町内業者であ

る株式会社鶴木組が受託しており、年間の河川管理パトロールや草刈りなどの河川維持補修業務の委託業務を実施しています。

様似川土手の草刈りなどの維持管理範囲については、様似川河口から上流約5kmの岡二橋付近までの区間における左岸延長4,880m、右岸延長4,000mの合計8,880m、面積約76,600㎡と様似ダム憩いの広場などを含む面積約6,000㎡を合わせた、草刈り対象範囲の総面積は約82,600㎡です。

草刈りの回数については、北海道公共土木施設維持管理業務処理要領河川編に基づき、通常は、年1回、6月から9月までの間に実施することとされています。また、堤防の法面や管理用通路などの植生の繁茂状況に応じて、必要に応じた草刈りを実施することとなっています。

今年度の様似川の土手の草刈りについては、7月中旬に実施を予定しております。

答

② 二つ目の質問についてですが、自治会は、地域住民が協力してよりよい地域社会を築くための組織であり、主な役割として地域の環境整備、親睦活動、防犯・防災活動、行政との連携、地域内の調整などを通じて、住民同士の交流を深め、安全で住みやすい地域づくりを推進していただいております。

錦緑町連合自治会におかれましては、自治会の役割の一つである地域の環境整備の一環として、様似川左岸錦町側の草刈りを年に6回程度実施されており、また、この活動をして20数年にわたり、継続して行っていたにいたり、継続して対し、深く感謝を申し上げます。

この様似川左岸・錦町側の維持管理の自治会の役割については、様似川の管理者であります北海道の草刈りなどの維持管理が、通常、年1回の実施のため、錦緑町連合自治会による日常的な地域の美化活動を通じて、地域住民の皆

様が地域の環境保全にご協力いただいていることを深く理解しています。

また、様似川の維持管理を含む浦河出張所管内の公共土木施設維持管理業務においては、様似川に加え、元浦川、向別川、乳呑川、日高幌別川なども除草の維持管理対象河川となっております。

そのため堤防法面や管理用通路などの植生の繁茂状況などに応じて、必要に応じた草刈りの実施をすることにはなっていますが、通常の年間草刈り実施回数は、変更されることはないものと考えられます。

今後の様似川左岸・錦町側における草刈りなどの維持管理については、自治会や町が協働し、地域で出来ることは地域自らが実施していくという姿勢で、環境整備に取り組んでいかなければならないと考えています。

また、自治会が様似川左岸・錦町側の河川維持管理において、支援が必要な場合には、河川管理者である北海道

問

③ 具体的に、今後の草刈りについて、どうすすめていくか？

答

③ まず、様似川の管理者である道が管理していただくのが前提とは思いますが、今後（実際、草刈りをしている方が高齢の方が多いということ）で、自分の地域・様似町は、様似町で対応していくのが、よいと考えています。



▲自治会が約30年以上草刈りを実施していた土手



明賀孝子議員

質問①

様似郷土館について

問

様似郷土館は、町の財産であり、歴史を知る為の観光スポットです。しかし、建物は老朽化しており、手狭であり、場所的にも被災の可能性が大であります。館内には、重要文化財に指定された貴重な資料もあります。

町の今後の計画、郷土館運営審議会での議決を含めて教えてください。

答

様似郷土館は開館から58年経過しています。手持資料の所蔵総数は7万3580点となっていますが、館内他駐車場物置、旧幌満小学校体育館内にも保管しています。運営審議会の議決、第9次様似町総合計画において、施設の維

持管理について、展示の改善や情報発信に努め、現施設の移転改築にむけて、早急に検討する必要がありますと記載されています。

施設の老朽化が進む中、審議会から、町や教育委員会に対して要望を行うよう考えていきたい、との議論がありました。

ご指摘のとおり、津波が発生した場合は被災する可能性が高い場所です。町としては、郷土館の施設の在り方について議論を進めていきたいと考えております。

当面の措置として、現在の郷土館の場所でも様々な対策を行った上での保管が出来るか検討したい。

問

様似町の重要文化財、アイヌ民族文化、縄文遺跡、廃線になった日高線鉄道の展示物等の素晴らしいものを充分理解されているからこそ、耐火金庫、エアコン、除湿器、防犯カメラ4台を設置しております。

しかし、今これだけ地震が

来て津波が来れば貴重な資料は全部だめになってしまう。そう言う意味で建物は必要ではないか。

現在の場所は津波に関して被災する可能性の高い場所にあるのは事実です。

今までは想定をしていない、他の具体的な場所がない、一定の費用もかかるが、担当として前向きに考えたい。

問

郷土館内事務室は書類、資料等が天井までびっちょり詰まっている。大地震が来たらアウトです。防災面からも危険です。そういう危険性がある場所です。一歩踏み出して早目に何とか考えて頂きたい。

答

移転の話はこれまでもありましたが、どこか安全な適地や施設が見当たらないのが現実です。他の老朽化施設等との兼ね合いもある。そこを集約して考えて行きたい。

問

日高管内でもでは様似郷土館が一番狭く、数多くの貴重な資料が未展示のままです。

国立公園になった現在、観光材料として様似郷土館を大いに活用すべきではないでしょうか。

アポイ山周辺は高台でもあり、アポイ山荘、アポイ岳ジオパークもあり、町民、観光客共に訪れやすい立地であり、郷土館の候補地として最適だと思われます。新設はもちろんのこと、現在ある施設の再活用も含めて荒木町長にお聞きします。



▲天井まで積まれた資料

答

以前の地震でも津波がすぐ近くまで来ていました。教育委員会からも話がありましたが、町の計画の中でどういう位置づけをするか、施設の改修移転等についても審議会から計画を出してくる事になりましたら、検討させていただきたい。





鈴木隆議員

質問①

生活支援事業の「生活支援体制整備事業」について

①高齢者が多く住み続けている公営住宅の施設の維持・管理（施設内の除雪・草刈り等）が難しくなってきたという現状です。町はどのようにしてこの課題について検討していますか。その対策について聞きます。

答 公営住宅の施設の維持管理、草刈りや除雪など住宅の環境維持につきましては、原則は入居者の方たちが協力し合って維持管理に努めていただきたいと思います。

問 ②町内にも高齢人口が増え、自宅敷地の草刈り、冬の除雪等、物価高騰のこともあり、経済的理由で業者に頼みたくても頼めないでいる町民がいることに対しての行政と

しての対応を聞きます。

答 物価高騰につきましては、国の制度による給付金の給付をしており、町では「アポイクーポン」のような、様々な目的のために使える券を、町民全体、あるいは非課税世帯に交付してきたところです。

問 ③草刈り・除雪等の担い手不足などのボランティア活動につなげるような記述もあるが具体的にどのようなことですか。

答 住民同士とりわけ高齢者がお互いに支えあうことで、担い手の介護予防にもつながるというところで呼び掛けているものであり、草刈りや除雪については重労働でボランティアの範囲を超えるのではと、感じているところです。

質問②

類似町地球温暖化対策実行計画について

問 ①今年度からスタートで、その期間は令和12年度までの6年間となっています。これに関する今年度予算にはほとんど、反映されていません。

その原因は何ですか。

答 消防庁舎新築にあたっての木質バイオマスボイラーの導入や、LED整備に関しては、保健福祉センターきらくの大規模改修工事における電気設備改修、及び図書館の大規模改修に係る実施設計の中で反映されているものと考えています。

問 ②取組項目として建物・設備の省エネルギー化が書かれているが既存電球の製造中止と言われているがそれに対しての対応はどうなっていますか。

答 LEDランプ対応器具以外は、当面、流通在庫での対応となるが、いずれ、在庫はなくなることから、速やかに計画的にLED化は進めていかなければいけないと考えております。

問 ③今年も公用車等の省エネルギー化計画の今後の具体化はどのように進みますか。

答 今後も具体的な年次計画は今のところありませんが、計画にあるとおり、公用車の省エネルギー化を進めていくこ

とは必要でありますので燃費性能に優れた、プラグインハイブリッド車等への切り替えを行っていくことで省エネルギー化を図っていければと考えております。

問 ④町内では灯油に対する依存度が高いと思われるがそれに対する省エネルギー化対策はどのように考えていますか。

答 まずは公共施設から灯油依存脱却を図り、さまざまな知見を得ていく中で、町全体へ波及していければと考えています。

質問③

類似駅前整備計画について

問 ①何回かの町民を交えた話し合いがもたれていると聞いているがその後の進展状況はどうなっていますか。

答 駅舎については、現状、現建物を活用しての改修や増築が難しいのであれば、現在の駅舎は解体して建て替える方向で進めるべきではないのかという方向性が出されています。

問 ②旧駅舎の老朽化が進み、屋根・破風等の腐食、正面看板も見苦しく感じられてきているがそれらの補修は早急に必要と思われるが対策はどうなっているか。

答 議員指摘の通り、屋根周り等を含めて老朽化が進み、強風等が吹けば一部が壊れる可能性があるので、本年度、最低限であります、風が入らないように、屋根の一部、破風や軒先の一部補修を予定しており、現在事業実施に向けた準備をしているところであります。

問 ③階段の手すり・スロープ等の設置はどうなっていますか。

答 旧駅舎整備に合わせて考えていきたい。

問 ④さわかトイレの外壁・屋根等の補修はどうなっていますか。

答 類似駅前の整備の考え方が整理された段階で、改めて整備を進めていきたい。現在修理、改修の予定は持っておりません。

社会・文教常任委員会 6/6

◆令和7年度以降の新型コロナウイルスワクチン接種について

令和6年度の接種状況については、令和6年4月1日時点の65歳以上の人口1,654人中260名が接種され、接種15.7%とのことでした。この実績を踏まえ、助成内容の変更とともに、補正予算可決後、接種費用助成実施要項の改正が行われます。

◆生活支援体制整備事業について

平成29年に実施要項を作成し開始された事業で、これまでは職員が兼務で行っていました。しかし、ケアマネジメント業務を優先させている結果、この事業に取り組めない現状があり、国が推奨する原則通り、今回専任で外部委託し、補正予算を上程するということでした。

コーディネーターとして、地域単位で、困り事や理想とする地域の姿を話し合い、そこに近づくための仕組みを作り上げることが業務となり、歳出で、委託料として370万円増となります。今年度、生活支援ボランティア養成講座を予定しています。

◆様似福祉会の経営状況について

様似福祉会は、令和3年度から赤字決算が続いています。今後の経営予測についての資料が提供され、現時点ではその分析や聞き取りが続けているとのことでした。しかし、経営的補助については全く考えていない、まだその段階ではない、という町長のお答えだったため、貸借対照表等の資料請求をし、審議を終了しています。

◆えりも町焼却ゴミの受け入れについて

令和6年12月に、焼却施設の故障により、えりも町での焼却業務が停止する事態となりました。以前より、ゴミの受け入れについて協議が進められていたところ、この緊急事態を受け、急遽、試験的に受け入れを開始しましたが、6月1日より本稼働として対応するとのこと。ゴミの量はえりも町の可燃ゴミ量全体の約30～40%、週に約4台のゴミ収集車の搬入となります。

◆様似町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について

計画期間は令和7年度から令和12年度までの6年間で、平成25年度と比較し、令和12年度までに、温室効果ガス50%削減が目標となっています。様似町における事務事業及び公共施設の、省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入・活用を推進します。LED化や公用車の電気自動車への移行等について質問が出ましたが、具体的な計画はまだ持っていないということでした。

座長を副町長、事務局である税務町民課を中心に各課代表課長等で構成された推進会議により推進されます。

◆部活動の地域移行に関するアンケート結果について

調査対象は、小学校5、6年生の児童及び保護者、中学校1、2年生の生徒及び保護者、学校教職員、各スポーツ・文化団体です。結果として、地域移行に関して特に否定的な意見はありませんでしたが、当町単独では難しい状況もあり、直ちに進展は出来ないが、中学校教員の負担軽減については早急に対応していきたいとのことでした。

◆様似町文化・スポーツ大会出場助成金交付要綱について

委員会より要望していた助成金についてですが、今回、教育委員会の助成金交付要綱として定め、施行されることになりました。

助成の幅を広げ、町在住及び町出身の高校生も対象にな

ります。また、小中学生については、町内スポーツ少年団や活動以外でも、助成率は基本的に100%となります。

その他審議した案件

◆様似町税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分承認について

◆様似町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分承認について

◆様似町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

◇ 今回は、委員会側からの案件はありませんでした。

総務・産業常任委員会
4/21
6/5

※令和7年4月21日に開催された事務調査案件は、建設水道課2件、企画調整課1件でした。

◆建設水道課

建設水道課1件目は、保健福祉センター大規模改修工事請負契約の締結についてで、入札年月日、入札指名業者、工事概要等の説明がありました。

委員からは、ゼロカーボン宣言をしているのに化石燃料使用のボイラーを使用すべきではない、ボイラーの耐用年数、改修工事ではなく修繕工事なのでは、町長自身の言葉で思いを語って欲しい、等質疑がありました。



エアコン等改修予定の保健センター



様似消防支署建設工事現場

建設水道課2件目は、西町高台周辺地区緊急避難施設新築工事請負契約の締結についてで、入札年月日、入札指名業者、工事概要等の説明がありました。

委員からは、共同企業体の形成方法、緊急避難施設の目的・規模・備蓄庫の保存量、津波浸水区域にある備蓄品は高台に移すべき、備蓄食品が無駄にならないよう給食で利用しては、施設のスペース・トイレ・シャワールーム等の設備、備蓄品の量、情報を防災メールを活用して町民に知らせて欲しい等質疑がありました。

◆企画調整課

企画調整課1件は、様似町過疎地域持続的発展市町村計画の変更についてで、事業内容の修正及び令和7年度から実施予定の新規事業の追加について説明がありました。

委員からは、再生エネルギー問題についてどう取り組むのか、時代の流れが速いので1年単位で見直しをしてもいいのでは等質疑がありました。

※令和7年6月5日に開催された事務調査案件は、産業課1件、企画調整課1件、商工観光課2件、建設水道課4件でした。

◆産業課

産業課1件は、陸上養殖事業に関する勉強会の実施についてで、勉強会の必要性、勉強会の検討事項、勉強会の構成、勉強会の開催形態、勉強会における最重要課題、スケジュール、試験実施場所、国等の補助金活用、運用体制について説明がありました。

委員からは、勉強会の意義

が見えにくい、勉強会の構成・費用・補助金、バナメイエビの養殖の可能性、浦河町のサーモン養殖場を視察しては、漁業協同組合に投げかけても受けないのでは、漁業協同組合と漁業者の振興にどうつながるのか、漁業者が困っていることに手助けすべきでは、陸上養殖は漁業ではなく事業なので漁業振興にはつながらない、町が先導し小規模ロットで行い年金プラスアルファの収入と考えては、施設の光熱費・熱源、栽培公社を活用しては等質疑がありました。



陸上養殖候補地

◆企画調整課

企画調整課1件は、ふるさと納税の現況についてで、参

加事業者及び返礼品数寄付実績について説明がありました。委員からは、映画「北の流水（仮称）」への今までの支出額、新商品の開発・開拓の体制、灯台ツブをラインアップに加えて欲しい、サケの切り身の塩分が濃く西日本では口に合わないのでは塩分を控えめにしたい、天然プリの活用、加工業者への設備投資、ふるさと納税による町税の減収額等質疑がありました。

ふるさと納税商品別注文数ランキング

順位	令和6年度		令和5年度	
	商 品 名	注文数	商 品 名	注文数
1	煮たこ足小分けセット1kg	9,605	煮たこ足小分けセット1kg	10,499
2	煮たこ足小分けセット700g	4,879	秋ワケ(中サイズ3-4尾)	4,523
3	塩いくらセット(70g×6)	2,243	塩いくらセット(70g×6)	2,151
4	いくら醤油漬(70g×6)	1,521	特選塩いくら	748
5	秋ワケ(中サイズ3-4尾)	1,511	毛ガニ(480g×1)	608

◆商工観光課

商工観光課1件目は、交流促進施設アポイ山荘設置条例の一部改正についてで、昨今の燃料及び資機材、人件費の高騰を考慮し、利用料金の上限額の増額について説明がありました。

委員からは、募集時の条件と異なり不公平では、条例案は町、指定管理者のどちらから出たものなのか、付加価値を高めたいとどういうことなのか、指定管理が始まって2か月での変更はおかしい、指定管理者との契約内容はどうなっているのか、募集者に対し条件が変わることはあり得ないので十分に注意してほしい等質疑があり、町長より「この案件については取り下げさせていただき、指定管理者にしっかりと話をさせていただきます」との答弁がありました。

商工観光課2件目は、アポイ岳調査研究支援センターについてで、現状、修繕費、再検討結果について説明がありました。

委員からは、結局建物はどうなるのか、アポイ山荘の大規模改修費用はどのくらいか、5年後の町内の宿泊施設の状況、もっと早く資料提供して欲しかった、早急に解体すべきでアポイ山荘大規模改修にどの位費用が必要か検討すべき等質疑があり、「解体して更地にし、あとは新たに考える」という意見に町長より「解体して木質バイオマスのバックヤード等として可能なら使用したい」との答弁があり、本委員会で出た意見を踏まえて早急に総務産業常任委員会もしくは定例会で考えを提示していただくことで案件を終了しました。



大規模改修計画予定のアポイ山荘

◆建設水道課

建設水道課1件目は、西様似駅前橋補修工事請負契約の締結についてで、指名競争入札の結果、鶴木・岡田共立一般共同企業が落札し、工期が令和8年1月30日までと説明がありました。

委員からは、質疑はありませんでした。

建設水道課2件目は、栄町団地立替工事(Ⅱ期)請負契約の締結についてで、指名競争入札の結果、山田・田頭一般共同企業が落札し、工期が令和8年3月2日までと説明がありました。

委員からは、地場産材の種類、トイレの設置場所等質疑がありました。



アポイ岳調査研究支援センター(裏側)



栄町団地建設工事現場(奥は既設団地)

建設水道課3件目は、様似町住宅新築リフォーム等支援補助金交付要綱の一部改正についてで、改正期日、空き家改修工事のための登録、費用の上限額等について説明がありました。

委員からは、予算の決め方、建具・塗装業者が町内にあるのか、下請け業者でも可能なのか、良い条例でも生かされなければ価値がないので、町内居住を前提で緩めた条例でもいいのでは、解体補助金制度等質疑がありました。

建設水道課4件目は、町道平宇新富線アポイ山荘奥町有地資材置き場の管理状況についてで、写真資料に基づいて説明がありました。



整理された様似町資材一時保管場所

委員からは、写真に写っている以外にも資材でないものが置いてあるのでは、アポイ山荘の粗大ごみと認識してよいのか、一時保管場になっているが、いつまで保管して置くのか、景観を損なうので出来るだけ早く片付けて欲しい等質疑がありました。

令和7年度北海道町村議会

議員研修会

令和7年7月8日、札幌コンベンションセンターにて開催されました。

はじめに、西南大学法学部教授勢一智子氏による「地方議員における議員の多彩化にむけて地域社会の鏡としての議会を考える」、次に、人口戦略会議副議長増田寛也氏による「人口減少社会を生き抜くために」の二講演でした。

人口減少が進む現在、議員の若返り化、多彩化の必要性和地方行政業務の管内連携、AIデジタル技術の活用など新しい視点での取り組みの必要性などが示されました。



赤潮被害対策調査

特別委員会調査視察

令和7年7月9日、赤潮被害対策調査特別委員会（坂本委員長）・議長・委員・議会事務局職員の7名で余市町の中央水産試験場現地視察へ行ってきました。

北海道立総合研究機構水産研究本部部長中央水産試験場長他8名にご出席頂き、水産試験場の概要説明、講演「北海道の海を知り、様似の海を考える・近年の北海道の海で何が起きているのか？」等、大変丁寧で分かりやすく説明して頂きました。活発な意見交換の後、施設内を見学しました。

今回の研修ではすでに分析されている事その他、問題の可能性についてや未知な課題等についても伺い、今後につなげる有意義な視察研修となりました。

【タワヤーダ説明会】

7月10日、様似町、えりも町において、日高地域森林資源持続化推進協議会主催の「新たな集材作業システム導入に関する説明会」が開催されました。これは、ひだか南森林組合が今年道内で初めて導入した機械「タワヤーダ」の説明会と実演会で、全道から林業関係者約180名の参加がありました。実演会では、オペレーターがリモコンで操作、二名が伐採とロープがけで処理する動きに圧倒されました。

※「タワヤーダ」山林の急傾斜地で伐採木を効率よく集材できる機械で、自走できる台車に載せた高さ約11mの折りたたみ式支柱を立て、立木と結んだワイヤーで伐採木をつり上げて運びます。



議会を傍聴しませんか？

議会は、どなたでも傍聴でき、今後の町の方向性を聞くことができる良い機会です。定例会や臨時会の傍聴は事前の連絡は必要ありません。

町民の皆さん、お待ちしております。

次回 定例会の予定は。。。

9月9日（火）～12日（金）

時間 午前9時30分から
場所 役場3階議場

☆お問い合わせ先☆
TEL 0146・36・2141
(議会事務局)

編集後記

今年も昆布漁のシーズンがやって来ました。30年程前に初めて昆布浜を見た時、その光景に圧倒されたのを覚えています。びつりときれいに並べられた凄い長さの昆布、大阪出身の私は昆布といえば店頭でしか見た事がなく、昆布干しの景色は本当に圧巻でした。初めて昆布作業をする機会に恵まれた時、漁師さんが海から採って来られた昆布を、自分で両手いっぱい抱えた感動は忘れられません。今年の昆布は豊漁と聞いていますが、近年は気候変動等で海だけでなく様々な場面で影響が出ています。時代とともに常に変化する産業、守る大切さと難しさを改めて感じています。（砂子澤）

議会広報常任委員会

委員長 水野 洋一
副委員長 佐々木 敏
委員 明賀 孝子
委員 砂子澤 富美子